

平成29年度学長裁量経費 採択事業 計画の概要

■「富山大学の強み・特色ある研究の推進」に係る事項

区 分		所属部局 学 科	理学部 化学科	代 表 者 の 職名・氏名	教 授 井川善也
要求事項の名称		理工・医薬・和漢リサーチ・アライアンスによる RNA 機能ネットワークの統合理解			
		氏 名	所属部局・職名	役 割 分 担	
研究組織	研究代表者	井川 善也	理学部・教授	全体取りまとめ・RNA2017 富山_年会長 原核生物グループ	
	研究分担者	廣瀬 豊	薬学部・准教授	富山 RNA ワークショップ・ 真核生物グループ	
		甲斐田 大輔	医学部・准教授	学外 RNA 研究ネットワーク連携・ 真核生物グループ	
		迫野 昌文	工学部・准教授	RNA-生体分子相互作用解析・ 技術支援グループ	
		小泉 桂一	和漢研・准教授	天然物由来 RNA プロセッシング阻害剤の探索 真核生物グループ	
		松村 茂祥	理学部・TT 助教	学内若手 RNA 研究者の交流・ 原核生物+技術支援グループ	

要求事項の目的

- (1) H28 年度の本経費プロジェクトとして理工医薬4学部の研究グループが構築した「RNA 機能ネットワーク研究アライアンス」に、和漢研の研究グループの参画による組織の充実拡大を図りつつ、サイエンス誌への成果発表に代表される昨年度の成果を継続的に一層発展させる。
 - (2) 6つの研究グループが連携協力し「mRNA をハブとする RNA 機能ネットワークの解明」の課題に取り組む。mRNA は遺伝子発現の上流（転写）～下流（翻訳）までを統合的に制御する「ハブ分子」であることに着目し、mRNA と低分子・タンパク質の相互作用解析を通じ、そのネットワークを解明する。
 - (3) 生体化学から細胞生物学にまたがる6グループ間でのシナジー効果を活用し、近年その役割が注目される「mRNA 上のメチル化等の化学修飾」の同定法開発と機能解明を連携研究として展開する。
 - (4) 「RNA 機能ネットワークと低分子化合物や非コード RNA との相互作用」を意識して研究を行う。将来、RNA 機能ネットワークを標的とする新しい疾患治療薬（真核細胞の研究から）、抗生物質（原核細胞の研究から）、RNA 医薬などの探索に繋がる環境を整備する。
- 「学部を横断した若い RNA 研究者の交流・育成の場」である富山 RNA 倶楽部、7月下旬に富山で開催される「日本 RNA 学会 2017 年会」とも連携し、学術人材育成と交流の中核組織としての実績を更に重ねる。

